

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年 2 月 8 日 (18:00 ~ 20:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー アンケート参加者：常勤職員 3 名、非常勤職員 12 名
ケア会議参加者：常勤職員 3 名、非常勤職員 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	7人	2人	0人	13人

前回の改善計画
全職員が利用者さんの状況を把握できるようにする。また、検討した内容を日々の申し送りで共有するとともに、月 1 回開催しているケア会議で実践の振り返りを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 回答者が 13 人 / 15 人、「できている」が 11 人 / 13 人であった。
- ケア会議にわかりやすい資料を提供、共有できている。
- 夜勤や夜対応のシフトの場合、小規模ケア会議に参加できないことについては今後の課題である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	7	0	0	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	7	2	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	8	6	1	0	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6	5	3	0	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 昨年度の「スタッフ個別評価」と比較すると、「よくできている」が大幅に増え、「ほとんどできていない」が 0 人となっている。
 ケア会議の工夫や日誌の細かな記録、日々の申し送りなどの運営努力と個人の努力の相乗効果と考える。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 勤務日数や勤務形態、家庭の事情によって、小規模ケア会議に参加が難しく、利用者さんの状況把握と関わり方に、個々の職員によるバラツキや、個々の利用者さんごとのバラツキがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 ① 小規模ケア会議をできるだけ宿泊の無い水曜日に設定する。
 ② ケア会議議事録を迅速に作成するとともに、業務日誌に挟む等開示方法を工夫する。
 ③ 「ちょうじゅ」(介護記録システム) のアセスメントシートの改善・工夫を検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年2月8日 (18:00 ~ 20:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー アンケート参加者：常勤職員3名、非常勤職員12名
ケア会議参加者：常勤職員3名、非常勤職員7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	2人	0人	12人

前回の改善計画
全職員が利用者さんの目標を共有できるようにする。また、検討した内容を日々の申し送りで共有するとともに、月1回開催しているケア会議で実践の振り返りを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
・ 回答者が12人/15人、「できている」が10人/12人であった。
・ ケア会議にわかりやすい資料を提供、共有できている。
・ 夜勤や夜対応のシフトの場合、小規模ケア会議に参加できないことについては今後の課題である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	5	7	3	0	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5	8	2	0	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4	9	2	0	15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	4	5	2	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
昨年度の「スタッフ個別評価」と比較すると、「よくできている」が増え、項目①～③の「ほとんどできていない」が0人となっている。
ケア会議の工夫や日誌の細かな記録、日々の申し送りなどの運営努力と個人の努力の相乗効果と考える。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
勤務日数や勤務形態、家庭の事情によって、小規模ケア会議に参加が難しく、利用者さんの状況把握と関わり方に、個々の職員によるバラツキや、個々の利用者さんごとのバラツキがある。
また、小規模ケア会議に参加できても「実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かす」ことが出来ていない職員が半数近くいる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
① それぞれの職員が退勤する際、常勤職員にその日のケアで気付いたこと等必ず報告するようにする。
② 日々の職員からの報告をケア会議に活かすと共に、会議で発言しやすい環境を整える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年2月8日 (18:00 ~ 20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー アンケート参加者：常勤職員3名、非常勤職員12名
ケア会議参加者：常勤職員3名、非常勤職員7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	1人	0人	13人

前回の改善計画	全職員が利用者さんの <u>状況の把握や目標理解を進める</u> 。また、検討した内容を日々の申し送りで共有するとともに、月1回開催しているケア会議で実践の振り返りを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 回答者が13人/15人、「できている」が12人/13人であった。 ケア会議にわかりやすい資料を提供、共有できている。 夜勤や夜対応のシフトの場合、小規模ケア会議に参加できないことについては今後の課題である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	6	8	1	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	11	4	0	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	7	6	0	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	10	5	0	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	8	6	1	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 昨年度の「スタッフ個別評価」と比較すると、項目②と④⑤は「よくできている」が増え、項目②～⑤の「ほとんどできていない」が0人となっている。 ケア会議の工夫や日誌の細かな記録、日々の申し送りなどの運営努力と個人の努力の相乗効果と考える。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 勤務日数や勤務形態、家庭の事情によって、小規模ケア会議に参加が難しく、利用者さんの状況把握と関わり方に、個々の職員によるバラツキや、個々の利用者さんごとのバラツキがある。 また、利用者さんの「以前の暮らし方」の把握や「声にならない声の言語化」は引き続き課題である。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ① 3ヶ月に1度を目安にヘルパー職員同士の話し合いの時間を設ける。 ② ケア会議の際、1回につき1～2名ずつ事例検討を行い、「以前の暮らし方」を把握し、「声にならない声」を職員間で言葉にする機会を作る。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年2月8日 (18:00 ~ 20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー アンケート参加者：常勤職員3名、非常勤職員12名
 ケア会議参加者：常勤職員3名、非常勤職員7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	2人	2人	10人

前回の改善計画	「初期支援」「『～したい』の実現」「日常生活の支援」の「具体的な改善計画」に取り組む中で把握した利用者さんのニーズに基づき、ご本人と日々の過ごし方を確認するとともに、日常的な散歩や外出などを含めて、地域の活動やイベントに参加・協力する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 回答者が10人/15人、「できている」が6人/10人であった。 地域の方との交流や地域行事への参加が進み、地域とのかかわりについて職員の認識が深まっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	8	5	0	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	7	1	1	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	9	5	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	8	3	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
昨年度の「スタッフ個別評価」と比較すると、「できている」にそれほどの変化はないが、「ほとんどできていない」が少なくなっている。 新たな地域住民との繋がりもできた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> まだまだ事業所内で支援が完結してしまう側面がある。地域とのかかわりの大切さについて更に認識を深めることが課題である。 利用者さんのご自宅での暮らしの様子などを更に情報把握・共有を更に進めることが課題である。 地域の社会資源の把握を更に進めることも課題である。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① 特に独居の方のご自宅での暮らし方の把握について、時間帯を変えて訪問する等、把握方法を工夫する。 ② 月間の小規模プログラムの内容に散歩や外出を月2回程度計画する。 ③ 既にできている地域との関わりを深め、新たに出来た繋がりを継続・発展させる。 ④ 月に1度市役所、公民館、地域包括、社協のいずれかに足を運び、社会資源の情報を集める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年2月8日 (18:00 ~ 20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー アンケート参加者：常勤職員3名、非常勤職員12名
ケア会議参加者：常勤職員3名、非常勤職員7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	7人	1人	0人	12人

前回の改善計画	「初期支援」「『～したい』の実現」「日常生活の支援」の「具体的な改善計画」に取り組む中で把握した利用者さんのニーズに基づき、ご本人と日々の過ごし方を確認するとともに、日常的な散歩や外出などを含めて、地域の活動やイベントに参加・協力する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 回答者が12人/15人、「できている」が11人/12人であった。 新規の利用者さんが増える中で、必要な時に、必要な事を、必要な量の支援のあり方を検討し、事業所の機能と地域にある機能を組み合わせて多様な支援に努力している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	6	2	1	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	7	1	1	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	8	6	1	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	6	1	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>昨年度の「スタッフ個別評価」と比較すると、とりわけ項目③④の「よくできている」が増え、「ほとんどできていない」が0人となった。項目①②の「ほとんどできていない」が大幅に少なくなっている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> まだまだ事業所内で支援が完結してしまう側面がある。地域とのかかわりの大切さについて更に認識を深めることが課題である。 職員体制による利用の制約?はどうしても発生している。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>① 『小規模多機能 BOOK』を活用した学習会を開き、地域密着型事業所としての役割を再度確認する機会を設ける。</p> <p>② 小規模多機能で支援し切れない部分は、地域の社会資源を活用することを検討する。</p> <p>③ 職員体制を維持・充実できるように取り組みを工夫する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年2月8日 (18:00 ~ 20:00)

6. 連携・協働

メンバー アンケート参加者：常勤職員3名、非常勤職員12名
ケア会議参加者：常勤職員3名、非常勤職員7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	3人	2人	2人	11人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ ひまわりのある地域に暮らしている職員も多いので、様々な地域（資源）の情報を共有するとともに、全職員が利用者さんの生活全体を把握できるように、日常的なコミュニケーションやケアマネジャーが訪問時において収集した地域での生活情報を全体として集約し、全職員が日誌や会議などで共有できるようにする。 ・ 運営推進会議や地域の回覧板など活用し、地域の活動やイベントの情報収集を行い、地域と協働した取り組みを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 回答者が11人/15人、「できている」が7人/11人であった。 ・ 利用者さんのご自宅での生活の様子について、ケアマネジャーの訪問記録を会議や日誌で共有するようにしている。 ・ 運営推進会議や回覧板を通して、地域の活動やイベントの情報収集を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	2	1	4	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	2	5	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	7	1	3	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	4	4	0	3	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関とのカンファレンスに積極的に参加した。 ・ 並木地域包括支援センター主催の研修や会議に参加した。 ・ ケアマネモニター会を実施し、小規模多機能ひまわりの宣伝に努めた。 ・ 地域や近隣の催し物（町内会の夏祭り、平和のための戦争展、小品盆栽展、キルト展など）に参加した。 ・ 同法人の保育園や保育園児との行事や地元の中学生の職場体験で交流した。 ・ 自治会の防災訓練へ参加した。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所内の役割や責任によって認識の度合いや参加状況が異なる。 ・ 事業所への来訪者状況を正確に把握できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① 年度当初に職員一人一人の役割や責任を明確化し、それぞれの立場での地域との連携・協働の方法を確認する場を設ける。	
② 業務日誌に来訪者を記録し、毎月のケア会議の際に報告する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年2月8日 (18:00 ~ 20:00)

7. 運営

メンバー アンケート参加者：常勤職員3名、非常勤職員12名
ケア会議参加者：常勤職員3名、非常勤職員7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	6人	1人	1人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間の防災（避難・応援連絡）訓練を実施する。 ・ 「初期支援」「『～したい』の実現」「日常生活の支援」の「具体的な改善計画」に取り組む中で把握した利用者さんのニーズに基づき、ご本人と日々の過ごし方を確認するとともに、日常的な散歩や外出などを含めて、地域の活動やイベントに参加・協力する。 ・ 運営推進会議や地域の回覧板など活用し、地域の活動やイベントの情報収集を行い、地域と協働した取り組みを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回答者が9人/15人、「できている」が7人/9人であった。 ・ 夜間防災訓練を実施。運営推進会議メンバーから提案があり、利用者さんのご家族の連絡先を掲載した応援連絡網を作成した。 ・ 自治会主催の防災訓練や「三世代ふれあいまつり」に参加した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	2	6	4	2	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	5	5	0	2	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	3	1	1	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	4	2	2	3	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>昨年度の「スタッフ個別評価」と比較すると、「できていない」が少なくなった。地域とのかかわりと職員の全員参加を大切にする運営に努力していることを職員一人一人が実感しつつある。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ そもそも「小規模多機能型居宅介護事業所（ひまわり）」とは？の共通認識をさらに深めることが課題である。 ・ ケア会議や日常運営の中で、「事業所のあり方について」気軽に発言できる運営体質や組織風土にすることが課題である。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>① 「4. 地域での暮らしの支援」「5. 多機能性のある柔軟な支援」「6. 連携・協同」の改善計画を着実に進める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年2月8日 (18:00 ~ 20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー アンケート参加者：常勤職員3名、非常勤職員12名
ケア会議参加者：常勤職員3名、非常勤職員7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	5人	3人	11人

前回の改善計画

- 外部研修については、参加費の保障や業務の役割としての研修参加の保障など、参加しやすくするための基準を明確にする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 回答者が11人/15人、「できている」が3人/11人であった。
- 「研修で学びたい内容やスキルアップの目標の設定」が個々の職員任せになっている。(責任者との面接のために記入したアンケート内容に基づいた組織としての目標の共有までは行えていない。)
- 外部研修参加のための基準提示が遅れている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	7	2	4	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	1	3	9	15
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	1	9	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	5	0	2	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 今年度、法人高齢者部門の研修を設定したこともあり、内部研修に参加する職員が多かった。
- 個々の職員ごとに介護福祉士の資格取得を目指したり、研修に参加するなど努力している。
- 「リスクマネジメント」については、昨年度と比較すると「できていない」の回答が大幅に削減し、「事故・ヒヤリハット報告」を活用して個々の職員が再発防止に努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 外部研修は、テーマや研修の選定、参加のための時間確保等が課題である。
- 地域連絡会(県・市レベルの連絡会)は職員の位置づけ・役割により参加状況が異なる。
- 「リスクマネジメント」の項目に回答している職員が10人/15人となっており、今後の課題である。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 研修の情報提供を進め、積極的な参加を促す。
- 研修によっては参加費および交通費の補填を検討する。
- ケア会議で「リスクマネジメント」の必要性を伝えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年2月8日 (18:00 ~ 20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー アンケート参加者：常勤職員3名、非常勤職員12名
ケア会議参加者：常勤職員3名、非常勤職員7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	3人	1人	2人	9人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">多床室（3人部屋）におけるプライバシー確保のための検討を行う。法人（高齢者部門）の権利擁護委員会のもと、年に1度、全職員を対象に研修および権利擁護に関するチェックリストの実施を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">回答者が9人／15人、「できている」が6人／9人であった。多床室（3人部屋）のプライバシー確保は、現時点では検討できていない。年度末までに権利擁護についてのチェックリストによる点検を実施する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	14	0	0	0	14
②	虐待は行われていない	14	0	0	0	14
③	プライバシーが守られている	9	4	1	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	1	0	3	4
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	4	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">①「身体拘束」と②「虐待」の項目については、回答者全員が「よくできている」であった。利用者さんの「自尊心」「尊厳」「ありのまま尊重」を意識してケアに努めている。「離床センサー」使用の際は、口頭の説明および必ず使用する場合は、同意書の提出を依頼している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">④「成年後見制度」の活用については、役割に基づき、担当が状況を踏まえて検討する。引き続き、ケア場面における「スピーチロック」（虐待）や職員間の会話（プライバシー確保）については留意が必要である。引き続き、多床室（3人部屋）のプライバシー確保は課題である。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">人権・プライバシーに関する研修およびチェックリストを実施する。多床室（3人部屋）のプライバシー保護のためにカーテンの設置を検討する。